

西貝交流センターだより 楠の芽

西貝交流センター発行
西貝塚1377-5 TEL.32-4853

交流センターに茂る「楠の大樹」と「ひょうたん池」は、西貝地区の自然保護と憩いのシンボルです

自然保護と憩いのシンボル「ひょうたん池」

初夏恒例の、ひょうたん池自然を考えよう会主催『ホテル観賞会』が、今年は残念なことに開催できませんでした。昨年の夏の異常な暑さのためか、孵化した幼虫が順調に育たなかったそうです。

それでも、安久路川堤防・ひょうたん池には園児や地域の方が散歩がてら桜の花を楽しみ、そして、今はまぶしいばかりの若葉の季節を楽しんでいます。次第に暑くなるこれからの休日は、子どもたちが水遊びをしたり水辺の生き物に触れたりする機会も増えるでしょう。



親子で楽しむ

河川愛護活動にご協力を



ひょうたん池 作業の様子

総務環境部では、ひょうたん池の会が計画している年8回の全体整備作業のうち、河川愛護活動を兼ねる4回の作業に協力しています。また、地域の方にも協力を呼びかけています。(第1回 実施済み)

第2回 河川愛護活動予定日
7月16日(日) 8:30~



小魚を捕るカワセミ



イトトンボ

写真提供 磯部吉孝さん

地域づくり協議会 防災部

地震はいつ来るか わかりません

地区巡回の起震車体験会を実施します

防災フェア 7月1日(土) 9:00~

- 第1部 起震車体験会 (各地区)
 - 9:00~起震車体験会 会場:西之島防災倉庫前
 - 10:00~ " 会場:安久路公園
 - 11:10~ " 会場:天八さん南側
- 第2部 会場:西貝交流センター
 - 13:30~起震車体験会 (西貝地区)
 - 避難所設営シミュレーション
 - 防災グッズ展示・配布、防災倉庫見学 15:00 終了



疑似体験でも、知っているのと知らないのでは大違い

和やかに笑顔あふれるモルック大会 5/18

初めての西貝地区モルック大会に6チームが参加。少し慣れた方から未経験者まで、楽しく競技しました。ちょうど50点にするため、狙ったピンを倒した時には拍手と大歓声。総当たり戦で競いました。

優勝チーム (敬称略)
守屋富子 岡田迪代 伊藤みつ子



なでしこ絵手紙教室 会員募集中

活動日 月1回 第4水曜日

時間 13:30~15:30

活動場所 西貝交流センター

会費 無料

季節に合わせた題材など自由に楽しく描きましょう。会員同士で教えあいながら作品づくりをしています。



講座のお知らせ

詳しくは『学びの庭』または回覧案内で

【全3回】

やさしい水彩画

日時：7月26・8月2日・9日(水)
13:30~16:00

水彩画で身近な素材を描いてみましょう。毎回、お持ちいただいた野菜や果物を描きます。初めての方でも大丈夫。絵を描く楽しさを味わえます。

対象：大人 定員：10人

費用：700円

(受講料300円・材料費400円)

持ち物：水彩絵の具・筆・パレット・筆洗・HB鉛筆・雑巾・ティッシュ・飲み物・新聞紙・1回目の野菜(中玉以上のトマト2個)

その他：各回、題材として野菜や果物をご用意いただきます。

申込み受付 6月21日(水) 8:30~

西貝地域づくり協議会主催

ベビービクス&ベビーヨガ

ママのためのおしゃべり会 ①・②

① 日時：7月14日(金) 10:00~11:30

対象：首の座った3か月から9か月までの赤ちゃん
とママ

保健師さんとのお話と交流会もあります。

② 日時：7月28日(金) 10:00~11:30

対象：10か月から1歳半までの赤ちゃん
とママ

いつも使っている歯ブラシを持ってきてください。

定員：① 15人 ② 12人 費用：無料

親子でのスキンシップを図りながら、赤ちゃんの筋肉を刺激し、脳の発達を促します。ストレッチでママの姿勢改善や腰痛予防もできます。

持ち物：お出かけセット・大判のバスタオル・飲み物

その他：運動のできる服装でご参加ください。

申込み受付 西貝地区は受付中

他地区(空きがある場合)①6月23日(金)~ ②7月7日(金)~

西貝地区 風物あれこれ

西浦山 林宝院

永正14年(1517年)の秋、今之浦が大雨になり、浮き木に数百もの蟹が必死にしがみついているのを、福王寺の嶺崇和尚さまが助けました。死んだ蟹の霊を慰めるため、岸边にお地蔵さんを安置しました。蟹が恩返しに掘った穴からは、日照りにもきれいな水がこんこんと湧き出しました。地蔵菩薩をお迎えした草庵を隣浦庵とよび、後に林宝院と改めました。



紹介文は「西貝の歴史と文化を語る会」作成冊子参考

事務室の窓から

熱中症の危険は身近に暑さを感じにくいと言われる高齢者は特に要注意。室内でも熱中症になります。ニュースで時々「熱中症で救急搬送」とあります。のどが乾いていなくても定期的に、水分補給をするよう、声を掛け合ひましょう。